

多自然川づくり取り組み事例

タイトル：地域連携による外来種(アレチウリ)対策と生き物調査について		
水系/河川名：利根川水系/利根運河	河川分類：大河川	
河川の流域面積：25.4km ²	整備計画流量：-m ³ /s(W=1/-)	セグメント：3
事業：維持管理	事業開始年度 平成19年度	
目標設定：定性的	段階：D(実施・施工時)	
課題・目的(主な)：貴重種、特定動植物の保全、外来種対策		
工法(主な)：その他		
配慮事項(主な)：河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催		

背景・課題、目標設定

明治23年(約130年前)、北国から江戸へと物資を運ぶ運河として開削された「利根運河」は、舟運・治水・利水の役割を終えた現在、歴史的遺産として認定され、地域住民に親しまれ、利活用されるとともに、さまざまな動植物の生息・生育場となっている。これらを次代へ引き継ぐこと等を目的として、H19に「利根運河協議会」(学識・市民・千葉県・野田市・柏市・流山市)を設立し、地域連携による取り組み推進を図っている。

また、コウノトリの飼育・放鳥を行う野田市との共同事務局により、H26には「コウノトリの舞う地域づくり連絡協議会」を設立し、生態系ネットワーク形成(河川とその周辺の水田・湿地環境の保全や連続性改善)にも取り組み、利根運河周辺の環境保全・観光振興等を図っている。

取り組み内容・対策例

利根運河協議会では、地域連携による希少植物の保全を進めており、河川管理者による堤防除草時期の調整、市民団体による競合種の除去などにより、ノウルシ、レンリソウなどの維持・保全を図っている。また、市立柏高校、東京理科大、野田芽吹吹学園など、地元の学校・企業等が参加する年1回の地域行事として、特定外来生物アレチウリ駆除活動を8年間継続して行ってきた。

コウノトリ連絡協議会では、学識者等と連携して「水田の動物量調査の手引き」を作成したほか、河川-水田の生態系ネットワークについて体験しながら学ぶ「生きもの調査体験会」を、野田市・野田自然共生ファーム(こうのとりの里)と協力して開催(地元小学生等50名以



アレチウリ除去活動2019(約620名参加)

モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

■図1. 希少植物については、市民団体がモニタリング調査を担っており、ノウルシ、レンリソウなどの増加が確認されている。

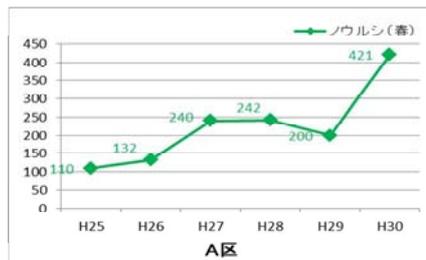


図1. 希少植物確認数の推移



図2. アレチウリ駆除活動参加人数の推移

■図2. アレチウリ駆除活動は、活動当初は協議会関係者のみの参加であったが、地元の学校・企業等、参加者が年々増加し、2019年には600名を超えた。

■図3. 駆除活動を実施した箇所のアレチウリ分布面積は、活動当初の約

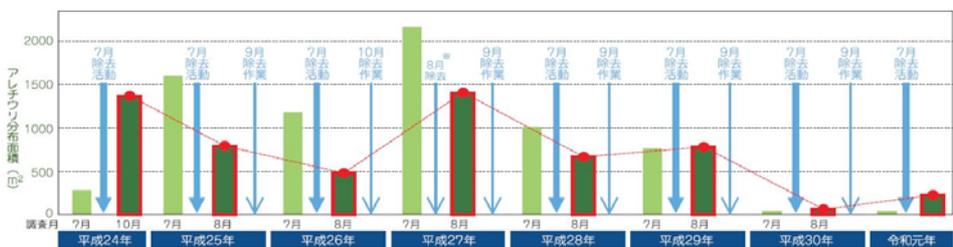


図3. 駆除箇所におけるアレチウリ分布面積の推移(利根運河 市立柏高校前 左岸)

備考